

# 時事フランス語をいかに教えるか — 言語・文化への1つのアプローチ Comment enseigner le français actuel ? : une approche de la langue/culture

石丸久美子 (ISHIMARU Kumiko)  
Université des Études Étrangères de Kyoto  
qumiquo@gmail.com

## 1. はじめに

本稿では、時事フランス語をどうすれば効果的に教えられるかを検討する。具体的には、まず筆者が授業をするにあたって直面した問題点を挙げたい。次に、2008年度の一年間、京都外国語大学において、3、4年生対象選択科目としての時事フランス語授業をどのような工夫をして行ったか、その内容と学生達の感想を紹介した後、授業で扱った教材の中から数例を取り上げ、文化を知ることが時事テキストを理解する上でいかに不可欠であったかを示したい。さらに、アトリエにご参加頂いた方々のご意見、アイデアも紹介する。

## 2. 時事フランス語授業での問題点

授業を行うにあたって、筆者が直面した問題は以下のとおりである。

- ・時事フランス語の授業、特に、中・上級者向けのクラスが設けられている大学は少なくないが、初級者向けには数多くの教科書があるのに比べ、中・上級者向けのものはとても限られている。
- ・中・上級者になると、documents authentiques と呼ばれる実際のメディア記事、資料を使用することが可能。→しかし、フランス語圏のメディアから学生のレベルにあった材料を探してくることは決して容易ではない。それにどのように対処するか。
- ・3、4年生の二学年対象で、留学経験者もいる場合、どのレベルを対象に授業を行えばよいか。
- ・使用できる教室が必ずしもコンピュータ教室であるとは限らない。→AV機器のある普通教室で、従来からの機材を用いて、いかに効果的な授業を行なうか。

## 3. 筆者が2008年度に行った授業内容

以上の点を問題提起とし、試行錯誤した結果、授業は、学生間のレベル差に広く対応できるように、易しめの教科書で時事フランス語基礎の定着を図り、難しめのメディア教材でより高度なフランス語に触れると共に、上級者にも対応するという二部構成にした。具体的には、毎回、1～2週間以内のニュースやその季節に合った話題を扱ったフランス語メディアからの録音、録画素材（映像は、Real Player Plusを用いて録画し、DVDに焼き付けて使用<sup>1</sup>）を用いて、穴埋めディクテ（書き取り）、読解を行い、残り時間で中級向けの時事教科書（クリスチャン・ボームルー、荒木善太編著、『ヴァリエテ・フランセーズ 2008』、朝日出版社、2008年）の読解、聞

<sup>1</sup> 最近では、有償、無償共に動画を録画できるコンピュータソフトウェアが色々出てきている。

き取り問題を行った。

外国語大学のフランス語専攻の3、4年生対象科目であるため、学生のレベルは割と高く、やる気のある学生が多いが、学年による差に加え、留学経験者もいるので、学生の語学力にはかなりの開きがある。また、就職活動などで欠席も多々あるのは否めない。さらに、18時15分から19時45分までという一日の最後の授業なので、集中力を維持するのなかなか難しい時刻だと思われる。

授業形式としては、教科書は予習してきてもらい、1段落ごと位に違う学生にあて、訳してもらった。その日に渡すメディア記事については、辞書を引かずに初見訳をしてもらった。学生が分からない単語、表現は、ヒントとして、その語の名詞、動詞、反意語や類義語を与えたり、英語読みをするように指示をしたり、どうしてもわからない場合は訳を教えた。

辞書なし初見訳を始めたきっかけは、当てられた学生が皆一様に慌てて辞書、特に電子辞書を引き始めるため、ある時、つい「ヒントを言うから辞書を引くのを止めてみて。」と言ったことからだが、学生たちが思った以上に早く、また抵抗感なくこの方法に慣れたのは本当に驚きであった。さらには、学生からもアンケートへの回答として、「先生が『辞書使わないで』と言ってくれたので、訳し方の力がついたと思います。」という嬉しい感想があった。実際、外国語学習では、ある程度のレベルに達した後は、類推力をつけることが非常に大切であろう。仏検も上の方の級になると、知らない単語が出てきて、文脈から推測する必要性が出てくる。また、日本語であっても、新語、専門用語その他の知らない単語、表現が出てきているにも関わらず、我々はそれを意識せずに類推して読んでいただけではなからうか。しかし、このように初見訳をしてもらうには、学生を緊張させない、気楽に質問できるクラスの雰囲気作りも大切かと思われる。

期末試験については、学生間でのレベル差を考慮し、3年生や留学経験のない人に負担をかけたくないことから、今のところは教科書内容からのみ作成している。

#### 4. 学生達の感想とそこから見えてくること

秋学期（後期）の最後に学生たちに、授業についてのアンケート調査を行った。全体的な感想としては、教科書、メディア教材（音声、映像）など、様々な教材を利用したことが好評であった。例えば、「ディクテや訳など様々なフランス語に触れることができた」「教科書だったり、ディクテだったり、ニュースだったり、メリハリもあって楽しかった」「ディクテあり、和訳ありと盛りだくさんで気を抜かずに受けられた」「文章を訳するだけでなく、様々な音声・映像教材を用いてフランス語の力を伸ばせる点が良かった」という回答があった。教科書については、筆者が感じていたとおり、少し易しめだが興味深い、面白いという回答が大半だった。メディア教材については、難しかったという意見もかなりあったものの、「手ごたえがあっっておもしろかった」「少し難しいが為になる」「CDのきれいな音声と比べて、TVなどの音声は聞きごたえがある」という感想であった。

映像、DVDについては、春学期（前期）は使わず、秋学期（後期）から使用したため、映像の有無についてどのように思うかと聞いたところ、映像のある方が理解しやすい、ためになる、面白いという感想が多かった一方、「つい目からの情報に頼ってしまいます」「映像があると、そっちに集中してしまった」「ない方が、より集中して聞くかも」という意見もあったのは注意すべきで、これに対しては、易しい内容は音声から、難しいものは映像から提示するなど、音声教材と映像教材を

上手く使い分ける必要があると思われる。

## 5. 実践例

### 5.1. 教科書とメディア教材を連携させた活動

教科書で学んだ内容をメディア教材で再び扱うか、あるいは反対に、教科書で扱われるものを前もってメディア教材で学習した。

- ・読解：教科書「60年目を迎えたカンヌ映画祭Petite histoire du Festival de Cannes」→読解：Les Clés de l'actualité junior<sup>2</sup>のサイト, « Une classe de quatrième gagne la Palme d'or », le 27 mai 2008<sup>3</sup>. 聞き取り問題：RFI, « La Palme d'or récompense un film français », le 26/05/2008<sup>4</sup>.
- ・ディクテ、読解：パリ市のサイト, « Nuit Blanche de Paris, Interview de Christophe Girard, adjoint au maire de Paris<sup>5</sup> »→読解：教科書「眠らない夜La nuit blanche de Paris」
- ・ディクテ、読解：NHK World, « Des pièces de monnaie pour commémorer le 150<sup>e</sup> anniversaire des relations franco-japonaises », le 15 janvier 2008 à 16h00. →読解：教科書「日仏交流 150周年 Les relations franco-japonaises ont 150 ans」

### 5.2. 段階式の活動

学生のレベルにあったメディア素材を探してくることは難しいが、それに対しては、同じテーマを扱った、難易度が異なる複数のメディア素材を段階的に用い、内容を多角的に理解していくという方法を取った。

#### 5.2.1. Grand Corps Malade

例えば、スラム歌手Grand Corps Malade<sup>6</sup>の« Midi 20 »は、幸せな子ども時代、思春期、事故による身体障害、その後の再起という彼の人生を歌っている。この歌詞を理解してもらった後、彼が生まれ育った町についての« Saint-Denis »という曲の映像を学生に見せ、パリ郊外の話をする。

使用教材 ミュージッククリップ：YouTube、略歴、用語集、歌詞：TV5 Monde<sup>7</sup>

読解、説明：歌手の名前、略歴、用語（slam<sup>8</sup>、slameurとは）、俗語、逆さ言葉

↓

« Midi20 »の映像提示。質問：どの位分かったか。

<sup>2</sup> 8歳～12歳の子供向け時事雑誌。

<sup>3</sup> <http://www.lesclesjunior.com/rubriques/culture/festival-de-cannes/une-classe-de-quatrieme-gagne-la-palme-d2019or> (2009.5.10.現在)

<sup>4</sup> [http://www.rfi.fr/lffr/questionnaires/101/questionnaire\\_352.asp](http://www.rfi.fr/lffr/questionnaires/101/questionnaire_352.asp) (2009.5.10.現在) Radio France Internationale の Langue Française のページ。FLE教材が沢山ある。

<sup>5</sup> [http://www.paris.fr/portail/nb2008/Portal.lut?page\\_id=8707](http://www.paris.fr/portail/nb2008/Portal.lut?page_id=8707) あるいは [http://www.dailymotion.com/video/x6sozs\\_interview-de-christophe-girard-adjoint-creation](http://www.dailymotion.com/video/x6sozs_interview-de-christophe-girard-adjoint-creation) (2009.5.10.現在)

<sup>6</sup> 本人の公式サイト。 <http://www.grandcorpsmalade.com/> (2009.5.10.現在)

<sup>7</sup> [http://www.tv5.org/TV5Site/musique/artiste-825-grand\\_corps\\_malade.htm](http://www.tv5.org/TV5Site/musique/artiste-825-grand_corps_malade.htm) (2009.5.10.現在)

<sup>8</sup> Slam poésie と呼ばれる、アメリカ、シカゴで生まれた、新しい詩的音楽。フランスでは90年代以降注目されている。Grand Corps Malade や Abd Al Malik 等のが代表的スラマー（スラム歌手）。フランス各地のカフェやバーでスラム大会が行われている。

↓  
歌詞配布。質問：どんな内容か、何を語っているか（ペアで考えてもらう）。  
↓  
« Midi20 »の音声提示。  
↓  
歌詞読解：辞書なし初見訳。  
↓  
« Midi20 »の映像提示。確認。  
↓  
もう一つの曲« Saint-Denis »の映像を提示（Grand Corps Malade が生まれ育ったところだと説明しておく）。  
↓  
質問：どんな風景、映像だったか。何が聞こえてきたか。→パリ郊外の話をする

### 5.2.2. Marseillaise sifflée

フランス対チュニジアのサッカー親善試合前に行われた、チュニジア系フランス人歌手 Lââm による仏国歌斉唱に対し、チュニジアのサポーターらが口笛を吹いた事件を扱った。TF1 のニュース映像に続き、より簡単な M6 info のインタビュー映像を提示し、次にプリントで読解を行い、再び TF1 の映像を見てもらうという順序で授業を行った。そして、チュニジアがフランスの旧植民地であること、チュニジア戦以外に口笛が吹かれた試合（フランス対アルジェリア、ロリアン対バスティア、フランス対モロッコ）についても言及した。

使用教材 映像：TF1<sup>9</sup>、M6 info<sup>10</sup>、印刷資料：AFP<sup>11</sup>、M6 info<sup>12</sup>

まず映像（TF1）を提示。質問：どの位わかったか？  
↓  
映像（M6 info、歌手 Lââm へのインタビュー）を提示。質問：何と言っているか。彼女の国籍は。父、祖父は何をしていたか。  
↓  
プリント（M6 info、AFP）配布。読解。→チュニジアが植民地であった歴史。  
↓  
映像（TF1）を再び提示。質問：チュニジア戦以外に口笛が吹かれたのは、どの国との試合か。  
↓  
映像（TF1）を提示、確認。

### 5.3. 日本文化についての活動

フランス語圏メディアから教材として使えるものを探し出すのは難しいものの、

<sup>9</sup> TF1 Journal télévisé, « La marseillaise une nouvelle fois sifflée » le 15/10/2008 à 13h.  
<http://tf1.lci.fr/infos/jt/0,,4124192,00-la-marseillaise-une-nouvelle-fois-sifflée-.html> (2009.5.10.現在)

<sup>10</sup> M6 info, « Marseille : la réaction de Lââm », le 15/10/2008.  
[http://www.m6info.fr/cms/display.jsp?id=ri2\\_860085&portal](http://www.m6info.fr/cms/display.jsp?id=ri2_860085&portal) (2009.5.10.現在)

<sup>11</sup> AFP, « Marseille sifflée : Fillon estime qu'il faudrait " interrompre les matches" », le 16 octobre 2008.  
<http://afp.google.com/article/ALeqM5gnYB0TCb7m2xToI7NZYrGTZ8XjLg> (2009.5.10.現在)

<sup>12</sup> M6 info, « Marseille sifflée, match arrêté ! », le 15 octobre 2008.  
[http://www.m6info.fr/cms/display.jsp?id=ri2\\_860085&portal](http://www.m6info.fr/cms/display.jsp?id=ri2_860085&portal) (2009.5.10.現在)

日本に旅行するフランス語圏の人も増加し、フランスでも日本文化がブームになっている昨今、日本、日本文化をフランス語で説明できる力を養うことも非常に重要なことではないだろうか。それゆえ、今後、さらに多くの日本文化についての教材を使用したいと考えている。本年度は、TV5 Monde で見つけた、懐石料理についてのニュースを用いた。

使用教材 Kaiseki : La haute cuisine japonaise (映像、スクリプト : TV5 Monde<sup>13</sup>)

穴埋めディクテと読解を行い、日本文化がどのように紹介されているかという点に注意してもらった。

## 5. まとめ

いくつかの例を見てきたが、特に Grand Corps Malade や Marseillaise sifflée の様なニュースは、文化事情を切り離しては理解できず、文化を知ることは時事テキストを理解するには不可欠である。そして、同じ題材を扱った異なるメディア素材をうまく使い、段階式の授業を行うことが、非常に効果的であり、学生を退屈させないと思われる。さらには、初見訳をさせるなど、中・上級者では類推力を養うことを提案したい。今後の課題としては、学生に自国の文化をフランス語で説明できるようになってもらうためにも、日本の文化をフランス語で扱った素材もどんどん用いていくべきではないだろうか。

## 6. おわりに : アトリエ参加者の方々との意見、アイデア交換

本内容のアトリエ発表の際には、最後の 30 分間は、アトリエ参加者の方々との意見、アイデアの交換を行ったので、その一部をご紹介します。

時事フランス語をするにあたり困難を感じる事としては、目標をどう設定するか、ただ読むだけになりがち、文法を終えたばかりの段階では、読解は難しいという声があった。また工夫している事としては、音声をうまく使い、易しくする、そして、細かい訳をせず、内容理解を重視するという意見が多くあった。

さらに、参加者のうち、2名の先生がご自身で作成なさっているサイトを紹介してください (井上美穂先生のサイト : [http://www.toshima.ne.jp/~m\\_inoue/08tf1b.htm](http://www.toshima.ne.jp/~m_inoue/08tf1b.htm)、Vincent Durrenberger 先生のサイト <http://www.podcastfrançaisfacile.com/>) 両方とも非常に内容が濃いサイトで、練習問題も豊富にある。

また、メディア教材で試験をしないのが学んだことをそのままにしているようで気になるという筆者に、アトリエ後、分野別に語彙集を作ってはどうかという貴重な意見を頂いた。これは、2009 年春からの授業で早速実践しており、毎週 1名の学生を指名し、語彙表を作成してもらっている。

<sup>13</sup>[http://www.tv5.org/TV5Site/enseigner-apprendre-francais/fiche-1228-Kaiseki\\_la\\_haute\\_cuisine\\_japonaise\\_niveau\\_A2.htm](http://www.tv5.org/TV5Site/enseigner-apprendre-francais/fiche-1228-Kaiseki_la_haute_cuisine_japonaise_niveau_A2.htm) (2009.5.10.現在)